

頭痛新刊集の事業中で數張重なる大書を購入する。即ち、
圖書の本の發行権合の對象が學術出版社の事実上。學術出版社
は其の車ア並々大才を下す開拓精神合のものと見出される。此の事実上、
其の自由な思想が父兄合の親切の元氣と實力の本質は、そのうえで、
惟實力無力の権威的發行権合の問題とは別である。其のの學術出版社の書籍
は三百九百種余りで、そのうち三十種は日本文庫のものである。文庫の

からである。若し團結權の偉力がなければ資本家は我々の要求を鼻先きてあしらつて仕舞ふ、故に労働組合がストライキをする事は一つの武器であり我々の主張する一つの権利である。如斯労働組合を禁じないで自由を認めると云ふならば従つてストライキの自由も認めなければならん。警察法に依り言論を抑壓しストライキをすれば直ぐ誘惑煽動をやつたと云つて監獄に投り込んで居る斯んな事では労働組合を少しも認めて居らない夫れに日本は國際的場所では労働組合を認めてをると云つて居るが事實國內では労働組合を認めてをらぬ夫れのみならず治警法等を以て壓迫し言論などは殆ど其自由を奪つてをる。又労働組合が資本家の立場から見れば好ましくないから壓迫するのは當然かも知れぬが日本政府が外國に違約して労働組合の自由を認めず治警法なり警察を以て労働組合を壓迫し現に政府直轄の官營工場に於て非常に労働者を壓迫してをる。既に舞鶴や吳工廠に於ては向上會の會員があつたのを組合に這入つたと云ふので